

2019

The first half of the year

DISCLOSURE

2019年度 上半期 業績のご報告

本部しんくみセンター

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1221番地4

TEL (025) 782-1201(代) FAX (025) 782-4063

ホームページ <http://www.shiozawa.shinkumi.jp/>

メールアドレス shinkumi@pluto.plala.or.jp



理事長あいさつ

魚沼の

塩沢信用組合

理事長 小野澤 一成



「あなたの信用組合のカラーは、何色ですか？」と聞かれたら、当組合の職員は声を揃えて「ジェントルブルー！」と答えてくれる。

スカイブルーでもネイビーブルーでもない、それは何色なのか？

一言でいうと「雪国文化」を象徴する色である。雪国文化は、譲り合いの精神。雪の中の一本道、すれ違うのも難しい、最初に気付いた方が、脇の雪を踏み固めて、よけて道を譲る。その際に、傘に積もった雪が相手にかからないように、そっと反対側へと傾ける。雪の一本道には、脇を踏み固めたところが、いくつも残る。この話は、だいぶ昔の話であり、さすがの雪国も、今は車社会となり、車を運転する上で、信号機の「黄色は止まれ」、本線に割り込みたい車を優先して入れてやる。歩行者を見たら徐行、間違っても歩行者に雪跳ねがかからないように気を付けて運転する。

当組合ではその雪国文化を夏場も忘れないように、夏の制服ポロシャツに「ジェントルブルー」と命名し、役員も職員も全員が一色に染まる。

都道府県ランキングで、地元がワーストであると、それだけで何か気分が悪い。人口の「転入・転出」で、「転出」ランクの上位に「新潟県」が入っていたが、先日、公表された都道府県ランキングで「新潟県」が何とベスト1位になった。

厚生労働省は、医療費抑制に向けた「努力」を都道府県に競わせることで医療保険財政の健全化を図る取組を2018年に始めた。

国民健康保険の運営主体が、市区町村から都道府県へ移管することに伴い交付金約500億円を今回算出した点数や加入者数に応じて振り分ける。

生活習慣病予防のため40～74歳を対象にする特定健診（メタボ健診）の実施率などをもとに算出した。その点数が、ダントツで「新潟県」が1位。

当組合では、2014年から「健康特別定期預金」を導入、特定健診を受診した場合に店頭金利に0.1%上乗せ、1年後に健診結果が改善した場合、最大で0.5%の上乗せ特典を付けて、数値改善を支援していた。

直接の影響は無いかもしれないが、評価されたことは、やはりうれしい。

地元を知り尽くした「雪国の信用組合」として、お客様の声に真摯に耳を傾け、若手と女性とベテランと全ての職員がお客様第一で仕事をしている。

そんな「塩沢信用組合」を引続きご支援ください。

以上



2019年度「半期」事業報告

(2019年10月28日)

(自：2019年4月1日～至：2019年9月30日)

1. 事業の概況

職員の「働き方改革」は、休み易い職場を宣言し、新人は4月1日に3日の有給休暇を特別に付与、職員は、全員が1週間以上の連続休暇と3日間の「メモリアル休暇」と、更に「任意休暇」4日の取得を義務化した。

残業時間は、過重労働にならないよう、全員でチェックする体制とした。

3年前から実施している「個人ノルマ撤廃」と「営業店の数字廃止」は、確実に定着しており、お客様のための仕事に専念できている。

2019年度は、共感という強い関係性を元に『共感資本主義』を実践することと、企業が利益の一部を地域に還元する『循環型経済』の旗振り役として、自らが範を示すこととした。7月1日には「10年連続好決算」を記念し、地元自治体はじめ地域で活躍している貢献団体等へ寄付金を贈呈した。

来期以降も当組合が生み出す利益によって、地域を潤し地域全体に発展をもたらすよう地元利益を還元していく方針とする。

4月早々に県内信用組合を訪問し、地域のお客様が元気になるように、県内信組が連携して「明るい話題」を提供し、信用組合業界のイメージアップを図ることを目的に、当組合から『3つの合同事業』を提案した。

①「豪華客船“飛鳥Ⅱ”定期積金」合同発売(発売予定日12月9日)

②「就職応援フェア」への県内信組ブース出展(開催日8月10日)

③「新現役交流会しんくみin越後」合同開催(開催予定日12月5日)

上記の3事業は、当組合が段取り、参加を希望する県内信用組合から協力を得て事業を開催しようとするもので、単独では開催が難しい事業を複数の信用組合が協力して行うものであり、“点”が“線”でつながり、“面”へと発展する取組みである。新潟県内の信用組合は、それぞれが地元で頑張っているが、互いにつながることで、新たな力が発揮できると考えている。

5月の「金融庁幹部との意見交換会」席上、先の「トップヒアリング」における「対話型の実践」では、資料作りに要する時間が短縮され、中身の濃い議論が出来たことと「1on1ミーティング」の実績と効果があったこと、そして金融庁自らが「出張授業」として実施しているヤングママさんや高校生を対象にした「金銭教育」については、地方財務事務所や各金融機関も説明用DVDを作成するなどしているが、その活動は単独で実施されており、複数機関が連携協力することで効果が倍増することを当局へ進言した。

7月に「三條信用組合」からの要請で、三條信用組合の融資営業を支援する「合同研修」および「合同FS」を三条市内にて実施した。三條信用組合の職員と当組合の職員がペアを組み、完全アポを取り100%の有効面談ができ、三条市内のお客様から大いに評価をいただいた。

9月に当組合取引先の支援を目的に「合同FS」を実施。塩沢信組流の営業を伝授した。当組合の事前にアポを取る「FS事業」は、他の金融機関から注目される場所であり、10月には、高知県の「宿毛商銀信用組合」との「合同FS」の実施を予定している。

8月10日に第3回目となる「就職応援フェア」を開催。今年は、地元企業38社のほか、新潟県信用組合協会として「ブース」を出展し、県内信用組合が苦戦している職員の採用へも貢献した。

9月23日には「住まいの何でもフェスティバル」を開催。地元の産業振興を「建築業」で実現したいとして、20社で協力して開催した。ナナシのマルシェを同時開催したため若者の来場が多数あり、大いに賑わった。

同日2部で開催した「事業者情報交換会」では、人手の確保や受注難についての現状の問題点が真剣に議論された。

8月に地元の消防署と連携し、地域住民と共にAED利用や初期消火訓練を当組合が緊急時には防災拠点の一つとして役割を担えるように実施した。

9月には、地元警察署と当組合と地域住民が一体となって防犯訓練を実施した。「特殊詐欺等」の防止訓練と強盗事件を想定した防犯訓練は、とても緊張感のあるもので、万が一の事態に備えて防犯意識を高めることが出来た。

災害発生時を想定しておくことは、地域の金融機関として大切なことであることを改めて認識した。4月以降毎月「防衛会議」を、マネロン・テロ資金対策、サイバーセキュリティ、BCP強化を目的に開催している。

9月に「信組ふれあい祭り」と「牧之通りコンサート」を開催。地元住民と信栄会役員、当組合関係者が多数参加し、大盛況であった。

9月に台風15号により被災した「君津信用組合」(木更津市)から、電子地域通貨「アクアコイン」を学ぶ目的で10月に講演会を開催する予定である。

ノルマを廃止し、顧客支援へ専念する体制として「10プロジェクト」に特化。2018年は、支援先を「73社」に広げ、2019年は、さらに全店「150社」の「キラッと光るものにスポットを当てる」支援に取り組んでいる。

「保証付け」や「過剰融資」により負担を強いられている事業者や知らず知らずのうちに“隠れローン”や“リボ払い”に陥っている人を救済し支援している。私どもの融資は、不安を解消し、安心を提供するもの。

『融資は“安心”の提供であり、不安を解消するための手段である。』

当組合の「融資姿勢」は、貸したところから“真”の付き合いが始まり、返し終わるまでとことん面倒を見る「永続伴走型」の支援である。

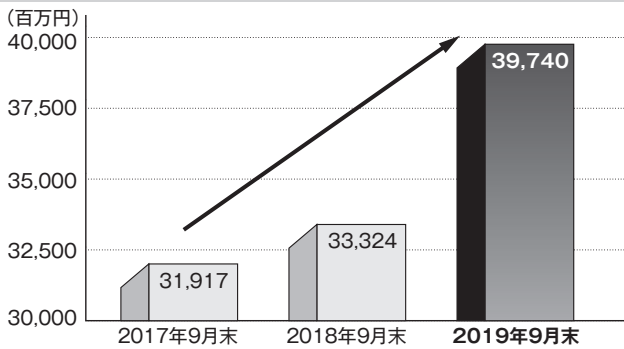
今期決算に関して、順調に推移しており、これも偏に総代はじめ組合員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、役員職員一同感謝すると共に、引続きのご支援をお願い申し上げ、半期の『事業報告』とする。

以上

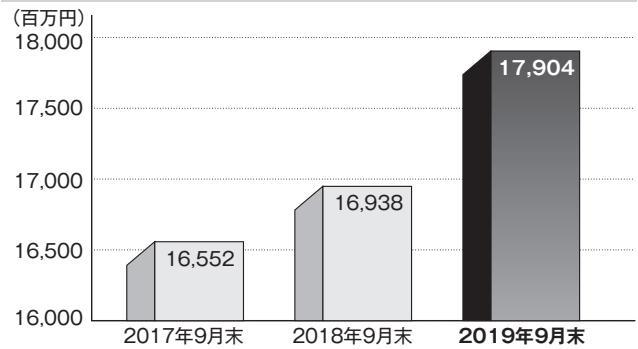
2019年度「半期決算」の報告

■主要勘定の推移

預積金残高

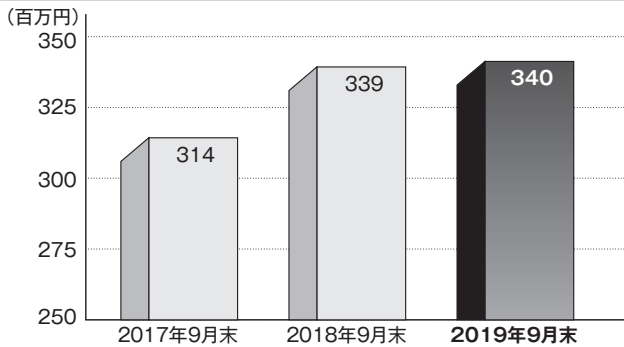


貸出金残高

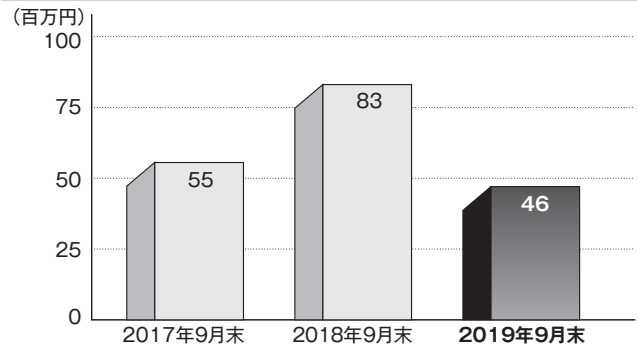


■収益等の推移

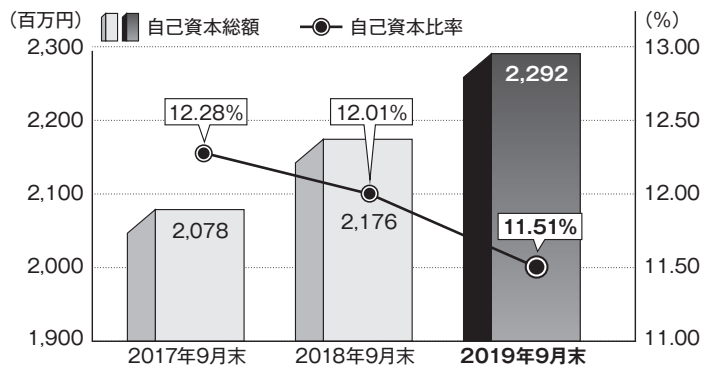
経常収益



当期純利益



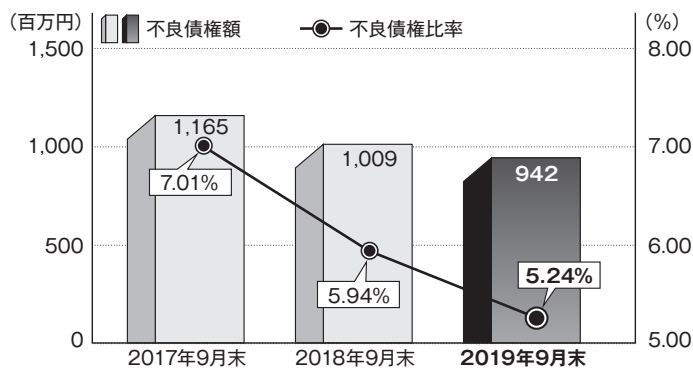
■自己資本比率・自己資本額の推移



自己資本の額は順調に積み増しされています。貸出金の増加により自己資本比率はやや低下しましたが、高い健全性が確保されています。
※リスクアセット上の自己資本総額となります。

■不良債権比率・不良債権額の推移

金融再生法開示債権の推移



不良債権額は順調に計上した利益の中から、着実に処理をすすめていることと、融資先への改善支援により、不良債権比率が改善しました。

地域貢献に関する情報開示

■地域に貢献するしおしの経営姿勢

当組合は、新潟県南部の魚沼エリアを営業区域とし、地元の中小零細事業者や住民が組合員となって、お互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるきめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりに奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうるおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

■融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円、%)

業 種 別	2018年9月		2019年9月	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 業	1,090	6.4	1,329	7.4
建 設 業	1,327	7.8	1,408	7.9
卸 売 ・ 小 売 業	1,797	10.6	2,045	11.4
各 種 サ ー ビ ス 業	3,537	21.0	3,625	20.3
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,398	8.3	1,436	8.0
小 計	9,149	54.1	9,844	55.0
地 方 公 共 団 体	1,209	7.1	1,775	9.9
個人（住宅・消費・納税資金等）	6,580	38.8	6,283	35.1
合 計	16,938	100.0	17,904	100.0

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

■中小企業等金融円滑化に関する取組

私どもの「融資」は、不安を解消し、安心を提供するもの。『融資は“安心”の提供であり、不安を解消するための手段である。』と言い切る。貸したところから“真”の付き合いが始まり、返し終えるまで、とことん面倒を見る「永続伴走型」の支援である。

小さいものや力の弱い者の味方として力を貸す。世のため人のための信用組合として「保証づけ」や「過剰融資」により負担を強いられている企業を支援する。

金融機関との付き合い方が優先する時代ではなく、本業に関するアドバイスなど、しっかり事業者のための支援をしてくれる「金融機関」を選ぶ時代である。

私どもは「選ばれる金融機関」になるために、キャッシュフローを導き出して、事業者が本業に傾注出来るご支援を徹底することを決めました。

2019年度「半期決算」の報告

■資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2018年9月	(B) 今期予算 2019年9月	(C) 今期実績 2019年9月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(資産の部)					
現金	449	500	462	▲ 38	13
預 け 金	17,673	18,944	22,459	3,515	4,786
有 価 証 券	3,488	3,725	3,735	10	247
国 債	1,856	1,268	1,273	5	▲ 583
社 債	0	0	203	203	203
株 式	15	15	15	0	0
そ の 他 の 証 券	1,616	2,291	2,243	▲ 48	627
貸 出 金	16,938	17,785	17,904	119	966
割 引 手 形	79	50	29	▲ 21	▲ 50
手 形 貸 付	1,242	1,400	1,407	7	165
証 書 貸 付	14,721	15,335	15,370	35	649
当 座 貸 越	895	1,000	1,097	97	202
そ の 他 資 産	199	280	270	▲ 10	71
全 信 組 連 出 資 金	87	175	175	0	88
有 形 固 定 資 産	481	496	492	▲ 4	11
建 物	219	240	235	▲ 5	16
土 地	237	237	237	0	0
無 形 固 定 資 産	2	3	1	▲ 2	▲ 1
繰 延 税 金 資 産	0	0	0	0	0
債 務 保 証 見 返	36	37	37	0	1
貸 倒 引 当 金	▲ 616	▲ 550	▲ 550	0	66
資 産 の 部 合 計	38,653	41,220	44,814	3,594	6,161

■負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2018年9月	(B) 今期予算 2019年9月	(C) 今期実績 2019年9月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(負債の部)					
預 金 積 金	33,324	36,175	39,740	3,565	6,416
流 動 性 預 金	12,472	13,065	12,867	▲ 198	395
定 期 預 金	19,606	21,830	25,586	3,756	5,980
定 期 積 金	1,246	1,280	1,286	6	40
借 用 金	2,800	2,400	2,400	0	▲ 400
そ の 他 負 債	80	75	74	▲ 1	▲ 6
職 員 預 り 金	21	27	27	0	6
各 種 引 当 金 等	46	60	63	3	17
繰 延 税 金 負 債	49	55	65	10	16
債 務 保 証	36	37	37	0	1
負 債 の 部 合 計	36,338	38,802	42,381	3,579	6,043
(純資産の部)					
出 資 金	414	413	413	0	▲ 1
利 益 剰 余 金	1,725	1,805	1,809	4	84
利 益 準 備 金	413	412	412	0	▲ 1
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,312	1,393	1,397	4	85
当 期 未 処 分 剰 余 金	155	148	152	4	▲ 3
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	175	200	210	10	35
純 資 産 の 部 合 計	2,315	2,418	2,432	14	117
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	38,653	41,220	44,814	3,594	6,161

■損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2018年9月	(B) 今期予算 2019年9月	(C) 今期実績 2019年9月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
経 常 収 益	339	301	340	39	1
資 金 運 用 収 益	311	282	317	35	6
貸 出 金 利 息	223	228	221	▲ 7	▲ 2
預 け 金 利 息	12	11	11	0	▲ 1
有 価 証 券 利 息 配 当 金	70	39	80	41	10
そ の 他 の 受 入 利 息	4	4	5	1	1
役 務 取 引 等 収 益	14	14	14	0	0
そ の 他 業 務 収 益	0	0	4	4	4
国 債 等 債 券 売 却 益	0	0	3	3	3
そ の 他 の 業 務 収 益	0	0	1	1	1
そ の 他 経 常 収 益	12	2	0	▲ 2	▲ 12
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	12	0	0	0	▲ 12
そ の 他 の 経 常 収 益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	227	246	273	27	46
資 金 調 達 費 用	5	6	7	1	2
預 積 金 利 息	5	6	7	1	2
借 用 金 利 息	0	0	0	0	0
そ の 他 の 支 払 利 息	0	0	0	0	0
役 務 取 引 等 費 用	16	16	14	▲ 2	▲ 2
そ の 他 業 務 費 用	0	0	0	0	0
国 債 等 債 券 売 却 損	0	0	0	0	0
そ の 他 の 業 務 費 用	0	0	0	0	0
経 費	205	219	249	30	44
人 件 費	115	125	136	11	21
物 件 費	85	89	108	19	23
税 金	4	5	3	▲ 2	▲ 1
そ の 他 経 常 費 用	0	2	2	0	2
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0
貸 出 金 償 却	0	0	0	0	0
そ の 他 の 経 常 費 用	0	2	2	0	2
経 常 利 益	112	55	66	11	▲ 46
特 別 利 益	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 益	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 利 益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 損	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 損 失	0	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益	112	55	66	11	▲ 46
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	28	12	20	8	▲ 8
法 人 税 等 調 整 額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	83	42	46	4	▲ 37
前 期 繰 越 金	72	106	106	0	34
当 期 未 処 分 剰 余 金	155	148	152	4	▲ 3

2020年3月期「決算」の見込

■資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2019年3月	(B) 今期予算 2020年3月	(C) 今期見込 2020年3月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
(資 産 の 部)					
現 金	489	500	500	0	11
預 け 金	17,327	15,355	15,239	▲ 116	▲ 2,088
有 価 証 券	3,575	3,557	3,735	178	160
貸 出 金	17,496	18,000	18,000	0	504
そ の 他 資 産	298	280	280	0	▲ 18
有 形 固 定 資 産	482	500	500	0	18
無 形 固 定 資 産	2	3	3	0	1
繰 延 税 金 資 産	0	0	0	0	0
債 務 保 証 見 返	37	35	35	0	▲ 2
貸 倒 引 当 金	▲ 549	▲ 541	▲ 519	22	30
資 産 の 部 合 計	39,161	37,689	37,773	84	▲ 1,388

■負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2019年3月	(B) 今期予算 2020年3月	(C) 今期見込 2020年3月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	33,770	34,270	34,270	0	500
借 用 金	2,800	800	800	0	▲ 2,000
そ の 他 負 債	80	90	80	▲ 10	0
各 種 引 当 金 等	59	55	55	0	▲ 4
繰 延 税 金 負 債	48	38	65	27	17
債 務 保 証	37	35	35	0	▲ 2
負 債 の 部 合 計	36,796	35,288	35,305	17	▲ 1,491
(純 資 産 の 部)				0	0
出 資 金	412	413	413	0	1
利 益 剰 余 金	1,783	1,838	1,845	7	62
利 益 準 備 金	413	412	412	0	▲ 1
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,370	1,425	1,433	8	63
当 期 未 処 分 剰 余 金	214	181	189	8	▲ 25
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	168	150	210	60	42
純 資 産 の 部 合 計	2,365	2,401	2,468	67	103
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	39,161	37,689	37,773	84	▲ 1,388

■損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2019年3月	(B) 今期予算 2020年3月	(C) 今期見込 2020年3月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
経常収益	647	600	636	36	▲ 11
資金運用収益	564	565	593	28	29
貸出金利息	448	460	446	▲ 14	▲ 2
預け金利息	24	22	22	0	▲ 2
有価証券利息配当金	88	79	121	42	33
その他の受入利息	4	4	4	0	0
役務取引等収益	30	30	30	0	0
その他業務収益	9	5	7	2	▲ 2
国債等債券売却益	0	0	3	3	3
その他の業務収益	8	5	4	▲ 1	▲ 4
その他経常収益	42	0	6	6	▲ 36
貸倒引当金戻入益	41	0	6	6	▲ 35
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経常費用	478	500	528	28	50
資金調達費用	10	13	14	1	4
預積金利息	10	13	14	1	4
借入金利息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役務取引等費用	31	32	31	▲ 1	0
その他業務費用	0	0	0	0	0
国債等債券売却損	0	0	0	0	0
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経費	432	445	469	24	37
人件費	253	257	271	14	18
物件費	173	177	197	20	24
税金	4	5	5	0	1
その他経常費用	3	10	10	0	7
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0
貸出金償却	0	5	5	0	5
その他の経常費用	3	5	5	0	2
経常利益	168	100	108	8	▲ 60
特別利益	0	0	0	0	0
固定資産処分益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0
固定資産処分損	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	168	100	108	8	▲ 60
法人税、住民税及び事業税	24	25	25	0	1
法人税等調整額	1	0	0	0	▲ 1
当期純利益	142	75	83	8	▲ 59
前期繰越金	72	106	106	0	34
当期末処分剰余金	214	181	189	8	▲ 25

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

(金額単位：千円)

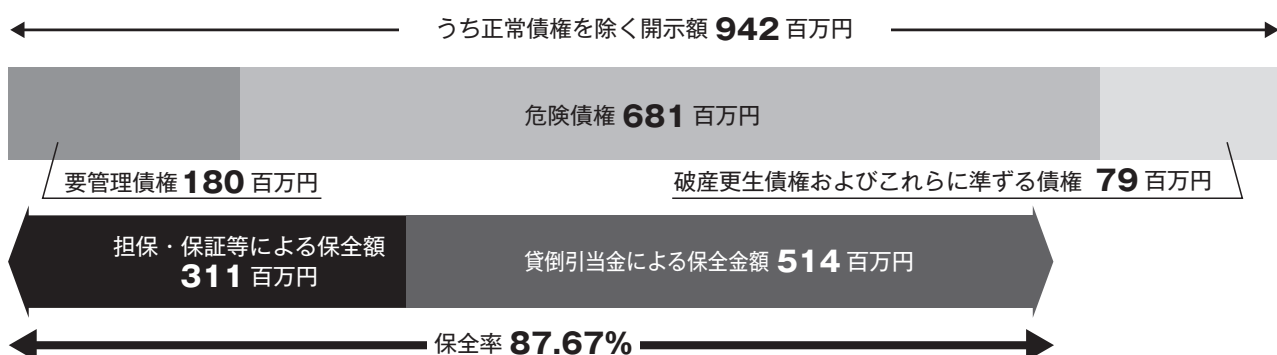
区 分	年度 別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/((A)-(B))
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	2017年9月	168,640	95,859	72,781	168,640	100.00 %	100.00 %
	2018年9月	140,890	46,610	94,280	140,890	100.00 %	100.00 %
	2019年9月	79,857	19,921	59,936	79,857	100.00 %	100.00 %
危 険 債 権	2017年9月	830,416	304,104	502,499	806,603	97.13 %	95.48 %
	2018年9月	801,954	291,808	484,027	775,835	96.74 %	94.88 %
	2019年9月	681,391	245,343	419,337	664,680	97.54 %	96.17 %
要管理債権	2017年9月	166,627	37,725	31,952	69,677	41.82 %	24.79 %
	2018年9月	67,153	24,852	9,208	34,060	50.72 %	21.77 %
	2019年9月	180,867	46,023	35,384	81,407	45.01 %	26.24 %
不良債権計	2017年9月	1,165,685	437,688	607,232	1,044,920	89.64 %	83.41 %
	2018年9月	1,009,998	363,270	587,515	950,785	94.14 %	90.84 %
	2019年9月	942,116	311,287	514,657	825,944	87.67 %	81.58 %
正 常 債 権	2017年9月	15,453,079					
	2018年9月	15,990,399					
	2019年9月	17,022,927					
合 計	2017年9月	16,618,764					
	2018年9月	17,000,398					
	2019年9月	17,965,043					

年度	不良債権比率
2017年9月	7.01 %
2018年9月	5.94 %
2019年9月	5.24 %

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等 (B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金 (C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

●金融再生法開示債権 17,965 百万円

(2019年9月末)



有価証券の時価等情報

1. 満期保有目的

(金額単位：百万円)

項 目	2018年9月			2019年9月			
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	
	地 方 債	-	-	-	-	-	
	社 債	-	-	-	-	-	
	そ の 他	200	216	16	400	428	28
	小 計	200	216	16	400	428	28
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	
	地 方 債	-	-	-	-	-	
	社 債	-	-	-	-	-	
	そ の 他	400	380	▲ 19	400	386	▲ 14
	小 計	400	380	▲ 19	400	386	▲ 14
合 計	600	596	▲ 3	800	814	14	

2. その他有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2018年9月			2019年9月			
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	
	債 券	1,657	1,498	158	1,373	1,199	174
	国 債	1,657	1,498	158	1,273	1,099	174
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	100	100	0
	そ の 他	824	737	86	1,162	1,026	136
	小 計	2,482	2,236	245	2,536	2,226	310
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	
	債 券	199	199	-	103	103	0
	国 債	199	199	-	-	-	
	地 方 債	-	-	-	-	-	
	社 債	-	-	-	103	103	0
	そ の 他	191	194	▲ 3	280	300	▲ 20
	小 計	391	394	▲ 3	383	403	▲ 20
合 計	2,873	2,631	242	2,920	2,629	290	

3. 時価評価されていない有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2018年9月 貸借対照表計上額	2019年9月 貸借対照表計上額
そ の 他 有 価 証 券	15	15
非 上 場 株 式	15	15
非 上 場 外 国 証 券	-	-

当組合のガバナンス強化の取組

協同組織の本来あるべき姿

組合員を代表する「総代」の機能発揮が“本来のあるべき姿”

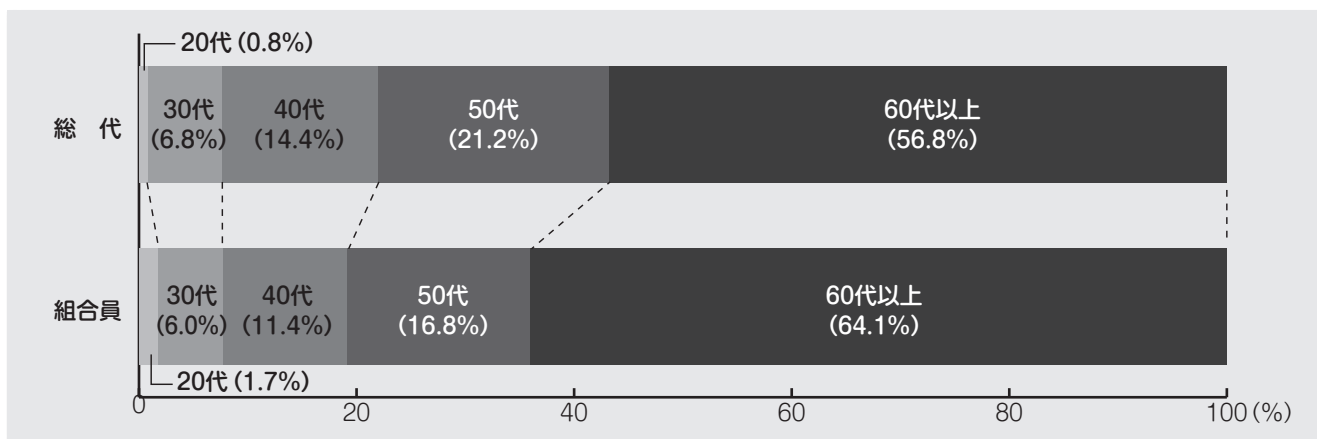
国内の協同組織金融機関では「初」の取組み

当組合では、12,000名の組合員を代表する120名の「総代」の選出を組合員の構成比とほぼ等しくしました。(下表の通り) 総代の意見がイコール組合員の総意とみなせる条件を整えました。

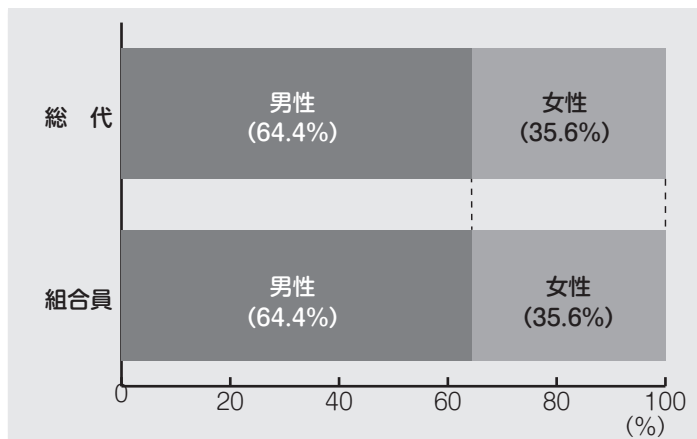
6月に開催した「通常総代会」では、総代からいただいた19のご意見・ご要望の内容を紹介し、ひとつひとつ丁寧に回答しました。

全国の協同組織金融機関の中で、総代の機能発揮による「ガバナンス強化」が図られたごくまれな例です。

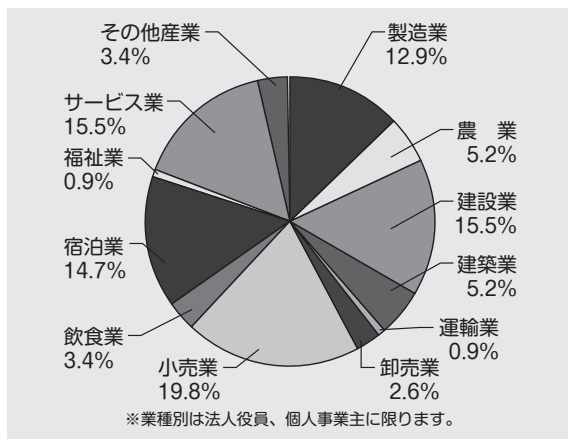
●総代の年代別構成比



●総代の男女別構成比



●総代の業種別構成比



来期の監事改選に関する予定

1. 監事の選考について

1) 監事の定数等について

監事の選出は、常勤監事として内部からの登用を1人、地区選出の非常勤監事1人、員外監事1人の計3人。

2. 監事改選に伴う予定について

- 1) 2020年5月より、各地区にて総代地区会議を開催
- 2) 2020年6月、監事選考委員会を開催
- 3) 2020年6月23日(火) 通常総代会を開催

※ 2020年5月開催予定の各地区会議および6月23日(火)開催の総代会へのご出席を宜しく申し上げます。

以 上

地域を応援する取組 (地域の課題に対する独自のベンチマーク)

■生み出した利益は地元へ還元「10年連続好決算記念式典・贈呈式」

塩沢信用組合は7月1日に10年連続好決算を記念して地元へ利益を還元しました。記念式典・贈呈式は来賓をお招きし、贈呈先に寄付金の贈呈を行い、当組合の好決算に結び付いた活動の紹介をさせていただきました。

連携自治体、2市2町を代表して湯沢町に寄付金100万円を贈呈、塩沢信用組合の後援団体である5信栄会にはそれぞれ寄付金20万円を贈呈、地元で活躍する10団体にはそれぞれ寄付金10万円を贈呈しました。

組合員様への利益還元としては総代会の承認をいただき、2019年の出資配当は従来の出資配当率3%から県内信用組合で最高配当率となる5%としています。また職員への利益還元としては支給後、2か月以内に営業エリア内の地元業者での消費が義務づけられる地域還元型手当3万円を支給しました。

塩沢信用組合は今後も利益を地域に還元し、循環型経済の仕組みで地元を潤すことで地域を活性化させていくように努めて参ります。



「10年連続好決算記念式典・贈呈式」

■地元で活躍する10団体のコメント

ナナシのマルシェ 代表：田村 香 様	
活 動	地域内の経済循環、地産地消を進めています。
寄付金贈呈のコメント	メンバーが活動しやすくなるような、機材や道具を揃える事に使用する方針です。
塩沢祇園囃子保存会 代表：角谷四郎 様	
活 動	塩沢祭りでの継続的活動を実施しています。
寄付金贈呈のコメント	太鼓や他の壊れた楽器の修繕に使用、楽器環境の充実が図れた事により、今年は今まで以上の子供さんから参加してもらい活況が図れました。
塩沢歌舞伎保存会 代表：太田喜一郎 様	
活 動	郷土の伝統芸能である地歌舞伎を後世に伝承するために永年に渡って取組んでいます。
寄付金贈呈のコメント	設立20周年ということもあり、雪譜まつりに向けた準備等に有効に使わせて頂きます。
雪雷太鼓保存会 代表：森本佳美 様	
活 動	昭和45年～始まり会員数は約26人、季節ごとのイベントで披露しています。
寄付金贈呈のコメント	寄付金贈呈のコメント：会の活動・運営に役立てさせていただきます。ありがとうございます。
独立国 童夢 代表：井上智明 様	
活 動	寄席「梅桜亭」を常設、地域のボランティア活動を実施しています。
寄付金贈呈のコメント	現在、会員内にて使途について検討中ですが、村内に看板設置の方向で進めています。
霊峰八海山を囲む会 代表：桐生好雄 様	
活 動	八海山の自然環境の保全や登山道の整備をボランティアにて継続的に実施しています。
寄付金贈呈のコメント	年内に会員用貸出ヘルメットとして10個程度を購入予定です。
つなべジ会 代表：山岸麗好 様	
活 動	2017年発足、津南の農産物のおいしさをPRし、観光に繋げている活動を行っています。
寄付金贈呈のコメント	のぼり旗が老朽化していた為、作り変えさせていただきました。小さい団体の活動を評価してもらって感謝しています。
津南町生活改善グループ連絡会 代表：藤ノ木友子 様	
活 動	津南町の伝統ある郷土料理の伝承。
寄付金贈呈のコメント	3月に食祭りを実施。その活動に使用します。メンバーの高齢化によりモチベーションが低くなっていましたが、今回このような評価をしてもらい、今後も継続してやろうという意欲がわきました。
魚沼産夢ひかり 代表：アナボヌ実砂子 様	
活 動	お祭りや介護施設、障害施設等へ訪問し踊り等を披露しています。
寄付金贈呈のコメント	9月に「おもちゃ箱の奇跡」を4回公演したくさんの方に見てもらいます。障害者を無料招待、手話通訳など講演の経費に使用しました。ありがとうございました。
魚沼昔ばなしの会 代表：山本初榮 様	
活 動	囲炉裏端で昔ばなしを聞く会等「魚沼の文化遺産」となりつつある昔ばなしを伝承しました。
寄付金贈呈のコメント	折角いただいたお金ですので特別な記念になる物にしたいと考えております。会員と協議して地域の方々により知られるように有効に使いたいと思います。

■ 1社1人、100社100人の雇用を魚沼に創出「うおぬま就職応援フェア」

1社1人、100社100人の雇用を魚沼に創出するための取組みとして「うおぬま就職応援フェア」を開催しました。

今年も地元企業38社が参加し、新卒求人だけでなく、ハローワークと協働し、中途の方も気軽に参加できる合同企業説明会としました。企業説明会の後には、地元企業が連携して、「雇用」に関する諸課題を解決するため、求人情報交換会を開催しました。従業員の季節雇用の現状、定着率向上に向けた取組など活発な意見交換がされ、参加者からも「今後の採用から定着までの取組についてとても参考になった」という声をいただいております。

継続事業として、今後も民間大手の手が届かない地方の就職市場で地域事業者の課題と真剣に向き合い大きな価値を生み出して参ります。



「うおぬま就職応援フェア」



「津南版住まいの何でもフェスティバル」

■ 若者定住と地元優良建築業者の振興「住まいの何でもフェスティバル」

2019年9月に地域の産業振興の一役を担い、仕事を創出するために第3回となる「住まいの何でもフェスティバル」を開催しました。住まいに関する相談をワンストップで解決するイベントで加盟店20社、不動産業者・建材卸業者・土業等4ブースが出店、昨年を上回る来場数となりました。同時開催した地元で活躍する地域団体ナナシのマルシェも賑わいをみせ、地元建築業者同士が集う機会を得たことで営業力不足に悩む地元建築業者から大変喜ばれました。今年10月には津南会場で、津南版住まいの何でもフェスティバルを「つなんdeマルシェ」共催で開催もしています。

■ 地域で頑張る人達を応援する「塩沢商工高等学校ウエイト

リフティング部・小出MCへ全国大会出場お祝い金の贈呈」

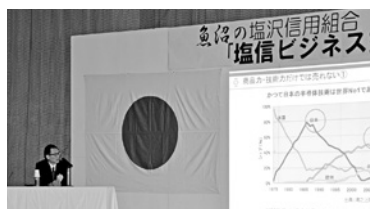
塩沢商工高等学校のウエイトリフティング部と社会人パレーボールチーム「小出MC」に全国大会出場のお祝い金を贈呈しました。塩沢信用組合は、地域で頑張っている団体を応援しており、これからも全国で活躍するために努力し続ける地域の人達を応援して参ります。



「小出MCお祝い金贈呈」



「塩沢商工ウエイトリフティング部お祝い金贈呈」



「塩信ビジネス交流会」

■ 10月8日 塩信ビジネス交流会

当日は、魚沼から発信、地元でつながろう“自らが交流を創る”をテーマに「塩信ビジネス交流会」を開催しました。当日は、(株)大平きのご研究所 大平洋一氏、(有)エフ商会 藤野明氏をお招きし、事業の成功体験等のご講演をいただきました。分科会では、各講師を中心にアドバイス交流会を開催。自らの手でネットワークを構築し、地元の魅力を発信する機会となりました。

■ 10月11日 第二回未来魚沼の交差点

未来魚沼の交差点事業第二弾を開催しました。今回は、君津信用組合様のアクアコインについて学び、君津信用組合 理事長 宮澤義夫氏からご講演をいただきました。平成3年の頃、木更津は地域経済が翻弄され、閑散とした商店街を活性化させるため掲げた「オール木更津」による再建の話をお聞かせいただきました。当日は、当組合の取引先事業様からお手伝いいただき、アクアコインのデモ実演を実施しました。



「新現役交流会」

■ 10月17日 新現役交流会しんくみin越後・結成式典及びトップセミナー

新潟県の経済を活性化させ、地方開業にて元気が出るような機会にしたい。そんな思いから新現役交流会しんくみin越後の結成式典を開催しました。当日は、新現役交流会に先駆的に取り組んでいる大東京信用組合 理事長 柳沢祥二氏をお招きし、新現役交流会による地域活性化について学びました。結成式典では6信用組合による共同声明が発表され、参加者による決起を行いました。



「未来魚沼の交差点」

2019年上半期「外部機関との連携」「文化的・社会的貢献・地域貢献」に関する活動

4月 3日(水)	「魚沼の未来基金第三期贈呈式」(本店22名)
5日(金)	「ハイウェイレディ委嘱式」(万代シルバー・佐藤温子・佐藤春名)
7日(日)	「東京塩沢会・総会」(上野・精養軒) 出席:小野澤理事長
11日(木)	「駅通り街路灯管理委員会役員引き継ぎの会」(三分区会館) 出席:片桐室長
18日(木)	「塩沢建築工業組合定期総会」(はなや) 出席:羽吹本店長
23日(火)	「魚沼市ものづくり協議会」(上村店長)
24日(水)	「南魚沼サービス店会平成31年度通常総会」(ほてる木の芽坂) 出席:片桐壮一店長
28日(日)	「東京六日町会・総会」(上野・精養軒) 出席:小野澤理事長
5月 1日(水)	「休日勤務」(全店窓口営業実施)
3日(金)	「塩沢宿牧之茶会」(本店)「観光開店」(職員7人)
4日(土)	「観光開店」(職員2人)
5日(日)	「観光開店」(職員2人)「軽トラ市」(本部)5月～11月の第一日曜日
6日(月)	「観光開店」(職員2人)
8日(水)	「津南町観光協会総会」(雪国) 福原店長
15日(水)	「湯沢商工会総会」 森下店長
17日(金)	「小出商工会通常総会」 山田次長
22日(水)	「塩沢商工会総会」 羽吹店長 「津南町商工会総会」 福原店長 「中里商工会総会」 小林次長 「湯之谷商工会総会」 上村店長
6月 2日(日)	「東京大和会・総会」(上野・精養軒) 小野澤理事長出席 「雪国ロータリーシングルズパーティ」 第23回NASPA
3日(月)	「全店ボランティア清掃」6月～9月4回実施 「湯沢町商工会総会」(森下店長出席)
9日(日)	「第10回南魚沼グルメマラソン」 ボランティア参加
11日(火)	「塩沢商工ウエイトリフティング部」 全国大会への寄付金贈呈
12日(水)	「全東栄信組」「牧之通り散策・臨時売店」「塩信プレゼンス」 お楽しみ抽選会 (ホテル双葉)
15日(土)	「理事長講演会」(津南高校関東地区同窓会) (上野蓬萊閣)「小野澤理事長、福原店長、小林次長」
18日(木)	「社会保険・南魚支部・総会」(サンライズ)「講演会」「懇親会」(ホテル木の芽坂) 貝瀬監事
25日(火)	「通常総代会」(塩沢公民館大ホール)「魚沼の未来基金・パブリックリソース財団」 「特別後援会」(講師:伊藤聡子)「懇親祝宴会」(ほてる木の芽坂)
30日(日)	「第3回津南カラオケの集い」(津南町文化センター) 来賓出席:貝瀬監事
7月 1日(月)	「10連続好決算記念式典」「懇親祝賀会」(ほてる木の芽坂)
10日(水)	地域還元型賞与3万円支給「出資配当金・支払日」(年5%)
15日(月)	「住吉大祭・渡御行列」(終日) 参加:小野澤理事長
18日(木)	「首都圏六日町会」(日章館) 出席:小野澤理事長
31日(水)	「社会保険・支部長会議」(坂戸城) 小野澤理事長・貝瀬監事出席
8月10日(土)	「うおぬまの就職応援フェア」(市民会館多目的ホール)「後処理とまとめ会議」(4回)
12日(月)	「緊急連絡網」「防災訓練」「BCP対策」
23日(金)	「社会保険委員役員会」(ホテル坂戸城) 貝瀬監事出席
31日(土)	「少年野球大会」(19回) 商工会青年部共催
9月 3日(火)	「防犯訓練」警察住民と三位一体 (本店・津南支店・小出郷支店) 「津南支店異業種交流会」(福原店長出席)
6日(金)	「信栄会サポート委員会」「特別定期抽選会」(本店)「牧之通りコンサートin史佳」(中島屋) 信組ふれあい祭り」第12回
7日(土)	「第2回糸と糸盆踊り」(大木六神社境内)
9日(月)	「防犯訓練」警察住民と三位一体 (石打支店)
10日(火)	「堀之内会館・校長会」(魚沼の未来基金説明:片桐支店長) 「大坪賢次氏を囲む会」(ホテル双葉) 出席:小野澤理事長
17日(火)	「南魚沼市・郡中学校校長会」 須藤常務、戸田代理
23日(月)	「住まい何でもフェス」「情報交換会」「交流懇親会」ほてる木の芽坂

中小企業の経営支援に関する取組方針

当組合は、地域に真に密着した金融機関であり、中・小規模事業者の拠り所として、地元の将来を背負って立つ気概を持っています。

組合員一人一人は良い時も悪い時もあり、長い目で見れば助けたり助けられたりする間柄。当組合の付き合いは、長期的視点に立つ支援が基本です。当組合の営業地域が限定されていることは「運命共同体」を意味しており、「逃げない」金融機関として、お客様の経営支援に真に正面から取組んでいます。

中小企業の経営支援に関する取組状況

■支援α事業

2019年度は支援先を150先に広げ、事業者様の支援に取り組んでいます。

今年度は2018年度の支援活動の中で発掘した事業者様の「キラッと光るところ」へ注目し、他の支援先へ活用することで事業のレベルアップに繋げる取組をスタートしています。

事業者様の中には販路拡大や経費管理、人材育成といった事業の各分野で工夫した営業戦略や先進的な取組を行っているところがあります。そういった専門的な分野でのノウハウを職員が吸収することで他の支援先の事業の拡大や発展に繋げています。

金融機関が自分たちの融資残高だけを気にしていると企業様の事業の悪化は食い止められず、地元事業者様の更なる事業悪化に繋がることになってしまいます。当地域においても「保証づけ」で「過剰融資」に陥り、返す為に借りの状態となっている事業者様や複数行にまたがって複数の長期資金があることで、毎月の返済負担が多額となっている事業者様も中にはあります。塩沢信用組合では毎月資金繰りが気になり、事業に専念することができなくなっている事業者様の返済負担を軽減し、事業性キャッシュフローを導き出して、本業に専念できるご支援を実施しております。

塩沢信用組合は、今後も社会的包摂を行う金融機関として困っている事業者様に寄り添い、ご支援していくことで社会的価値を高めてまいります。



■取引先との合同FS

塩沢信用組合では、小規模信用組合の生き残り戦略として、数年前から貸出FS（フィールドセールス）を実施しています。そして、2019年9月に貸出FSにより、培った営業ノウハウを今度は取引先に直接活用する「取引先との合同FS」を実施。

約1ヵ月前から訪問先を研究し、提案内容を詰めてからアポイントを取ることで目的を明確化、有効面談率を向上させることに成功しました。この事前準備を重視する塩沢信用組合流の営業方法を伝え、取引先と塩沢信用組合の職員が4つのペアを組んで実施。今回は新・忘年会シーズンの団体予約の取り付けを目標とし、当日は介護施設など合計約30先を訪問して団体の宿泊契約等の実績を上げています。

目利き能力の発揮による事業性評価を重視した融資

■自己責任貸出

保証会社、保証協会が通らない場合でも現状把握を行い、地域のローカルな情報を駆使して審査し、ご融資の相談に応じております。人物本位の定性情報を重視し、当組合と末永いお付き合いができる方、地元へ密接な関わりがある方のご相談に応じております。

■事後管理システム

ご融資の後、1、3、6、12、24、36、48ヶ月サイクルで、収入、勤務先、ご家族の状況等に変化がないか、お困りのことがないか、を確認。また、変化があった場合はご報告していただくことをお約束してご融資に応じております。

■救済支援から再生改善へ

優良企業にしか目を向けていない金融界の現状から、私どもは、目の前のお取引先を財務の健全化により優良化し、事業性を向上させていく、いわゆる「貸したところから真のお付き合いが始まる」取組を実施してまいります。

「経営者保証に関するガイドライン」の活用状況

経営者保証への対応方針

当組合は、経営者保証の課題に適切に対応するため、経営者保証に関するガイドライン研究会（事務局：全国銀行協会及び日本商工会議所）が公表（平成25年12月5日）した「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）を自発的に尊重し、遵守します。

今後、お客様と保証契約を締結する場合、また、保証人のお客様が本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応し、お客様との継続的かつ良好な信頼関係の構築・強化に努めてまいります。

経営者保証ガイドラインの取組

具体的な取組としては、借入の申込み時や保証契約の更改、事業承継などの機会に「経営者保証への対応方針」を説明し、ガイドラインで求められている以下の要件について充足状況を検証し、保証参加の可否を検討しています。

- ・法人と経営者個人の資産・経理が明確に分離されていること
- ・法人と経営者の間の資金のやりとりが、社会通念上適切な範囲であること
- ・法人のみの資産・収益力で借入返済が可能であること
- ・法人から適時・適切に財務情報が提供されていること など

また、既存の保証契約の見直しのお申し出があった場合や、保証債務を整理する場合においても同様に対応しています。

	2017年4月 ～9月末	2017年10月 ～2018年3月末	2018年4月 ～9月末	2018年10月 ～2019年3月末
A 新規に無保証で融資した件数（ABLを活用し、無保証で融資したものは除く）	0件	2件	2件	0件
B 経営者保証の代替的な融資手法として、停止条件付保証契約を活用した件数	0件	0件	0件	0件
うち、既存の保証契約を停止条件付保証契約に変更した件数	0件	0件	0件	0件
C 経営者保証の代替的な融資手法として、解除条件付保証契約を活用した件数	0件	0件	0件	0件
うち、既存の保証契約を解除条件付保証契約に変更した件数	0件	0件	0件	0件
D 経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数	0件	0件	0件	0件
うち、既存の保証契約をABLに変更した件数	0件	0件	0件	0件
保証契約を変更した件数	0件	0件	0件	0件
保証契約を解除した件数	3件	0件	5件	0件
うち、代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった件数	0件	0件	0件	0件
うち、代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した件数	2件	0件	3件	0件
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	0件	1件	0件	0件
うち、メイン行としての成立件数	0件	0件	0件	0件
(参考) 代表者の交代時において、旧経営者との保証契約は解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった件数	0件	0件	0件	0件
(参考) 代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した件数	1件	0件	0件	0件
E 新規融資件数	1,189件	1,210件	1,158件	1,259件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	0.00%	0.17%	0.17%	0.00%

※1 「保証契約を変更・解除した件数」のうち、「変更」とは「保証債務金額の減額をした場合」をいいます。「解除」とは「特定債務保証の解除をした場合」

又は「根保証の期限到来前に解除をした場合」又は「根保証の期限到来時に期限延長等をしなかった場合」をいいます。

※2 メイン行の判定については、当組合の基準に拠り判断しています。

※3 「新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合」は、「(A+B+C+D) / E」の計算式により算出しております。

顧客保護に関する取組と実績

三位一体防犯訓練・特殊詐欺声掛け訓練

職員だけでなく、近隣住民様を招き、いざというときに備え、防犯訓練と特殊詐欺防止の声掛けを5店舗すべてで実施しました。

当日は地元警察署員の方からもお越しいたごき、地元住民と三位一体となって地域の安全を守る取り組みとしてメディアからも注目を集めました。

スマホの普及等、時代は常に変化しており、その時々合った最善の防犯対策をあらためて検討できる機会となりました。今後も組織としての体制を整え、地域に安全を提供して参ります。



三位一体防災訓練

今年は防犯訓練だけでなく、近隣住民、消防署、塩沢信用組合の三位一体防災訓練を実施しました。

当日は地元消防署員の方からお越しいたごき、消火器訓練、AED訓練、人工呼吸訓練等のご指導をいただきました。

有事の際、地域への被害が少しでも小さくなるように、今後も地域住民様と共に対策を講じて参ります。



高齢者安全見守り隊

当組合で年金をお受け取りのお客様へは、地区ごとに担当者を定め、担当者の顔写真が入った「安全見守り隊カード」を配布、ご家庭の電話機の近くに掲示させて頂いております。

不審な電話や来訪者があった場合に、すぐに目につき、当組合にご一報いただく為のものです。

お身体の不調やその他の事情で生活のサイクルが変わったことも担当エリアを巡回している当組合職員が早期に発見し、お声がけできる態勢をとっています。

一部地域では実験的に独居世帯、ご高齢の夫婦二人世帯の所在をマップ上で共有し、有事の際はもちろん、平時から意識して声掛けをする取組に当組合も協力を開始いたします。

防衛会議

当組合は、2019年度の事業計画で危機管理を柱に据えています。毎月会議を開き、事業継続に支障を及ぼす事態への対策を考えるほか、自治体や消防、県警と連携して防犯防災に取り組んでいます。また、犯罪で得た資金のマネーロンダリング（資金洗浄）の防止やサイバー攻撃に備えた対策も講じています。今後も、お客様の安全を第一に考え、安心して当組合を利用できる環境を作って参ります。

県内外の信用組合との連携による地域活性化の取組み

全国信用組合の旅行誘致

全国の信用組合とのネットワークを駆使し、今年是全東栄信用組合様の旅行を実現しています。

バス4台で140名ほどの観光者様がお見えになり、旅行の受入企画から現地ガイドまで当組合職員が行いました。牧之通り到着時には地場産業の紹介のため取引先企業と臨時売店を開き、今後の取引拡大にも役立てています。

事業者と全国の信用組合との直接のパイプを厚くすることで、地元事業者の取引先の拡大にも繋げております。

今後も取引先事業者様の発展、地域の活性化のために全国の信用組合との連携を強化して参ります。



合同FS



2018年12月に南魚沼地域で三條信用組合様と合同FSを開催し、2019年7月には、三条の市場での合同FSが実現しました。2018年は、当組合のFS活動について学び、今年7月には、実際に当組合職員と共に三条の事業者へのTELアポから資料作成等の準備まで合同で実施しました。事前準備を重視する当組合の営業手法を伝え、当組合の職員も三条市場を目の当たりし、学ぶことができました。この貴重な経験を今後も地域の事業者様のために活かして参ります。

県内信用組合との協働事業「うおぬま就職応援フェア・新現役交流会しんくみin越後」

8月に開催されたうおぬま就職応援フェアは、今回新潟県信用組合様も参加していただきました。また、全国信用協同組合連合会様、全国信用組合協会さまにもブースを出展していただきました。

10月には、12月に開催される新現役交流会しんくみin越後の結成式典を開催し、県内6信用組合が成功への決起を行いました。



2019

The first
half of the year

DISCOUNT SOURCE

魚沼の
塩沢信用組合

五日町支店
〒949-7101 新潟県南魚沼市五日町387番地1
TEL (025) 776-2691(代)

本店
〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1198
TEL (025) 782-1151(代)

津南支店
〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊543番地3
TEL (025) 765-3125(代)

石打支店
〒949-6371 新潟県南魚沼市関1124番地1
TEL (025) 783-2962(代)

小出郷支店
〒946-0076 新潟県魚沼市井口新田547番地15
TEL (025) 792-7766(代)